

# リハビリケア専門士養成講座

(リハビリ介護専門士養成講座)

2016

## 日 程

初級：9月23日(金)～25日(日)  
中級：10月28日(金)～30日(日)  
上級：11月25日(金)～27日(日)  
※日程は変更になる場合があります

## 内 容

各3日間のセミナー

セミナー全日出席で各資格が授与されます

## 受講料

135,000円(税込)  
一括での受付となります

## 講 師

妹尾 弘幸

(株)QOL サービス代表取締役社長、  
早稲田大学非常勤講師、理学療法士、  
介護福祉士、DCM上級修了 他

## 会 場

ウィリング横浜  
(神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1)

## 主 催

NPO法人日本介護福祉教育研修機構  
日本通所ケア研究会

**定員になり次第締め切りとなります。お早めにお申し込みください。**

## 「リハビリケア専門士(リハビリ介護専門士)」とは

リハビリの知識・技術を活用して利用者の自立支援、生活機能改善のケアを提供していく専門家のことで、特定非営利活動法人日本介護福祉教育研修機構が養成・認定する資格です。(国家資格・公的資格ではありません)

この資格講座は、介護現場で役立つリハビリの幅広い知識と現場で使える技術を身に付けるを目的としています。自分自身の能力を高め、利用者に少しでも良いケアを提供したい方、地域や自施設でリハビリケアのリーダーシップを取っていきたい方に向いています。

リハビリ・技能訓練の主力は介護職…

**こんな事に心当たりのある人はオススメの講座です**

- リハ職に「〇〇してください」と言われたが、何のためにしているのかわからない。
- 教えられた集団体操以外できないし、今の対象者に合ってるのかもわからない。
- 一人ひとりに合った、きめ細かなケア、訓練を考えられるようになりたい。
- 介護の際にちょっとした時間を利用してできるトレーニングがあれば知りたい。
- 介護職でも、リハビリの基本的技術を身に付ければ、介護場面でも生かせると思う。



## 受講のメリット

- リハ職から伝えられたプログラムの「なぜ、これをするのか」が分かる
  - 自分自身で、基本的なプログラムが作成できるようになる
  - 質の高い1：1のトレーニング方法が学べる
  - 利用者に「なぜこのプログラムをしなければいけないのか」が説明できる
  - 今まで以上に効果の高いプログラムが提供できるようになる
- ほか、多数!

# リハビリ・機能訓練に対応できる技能が身に付く講座です

## 講座内容

※内容は変更になる場合があります。

### 初級専門士 (スクリーニング3日間)

整形・運動器疾患

#### I. リハビリテーションについて

- ・リハビリの考え方、視点
- ・ICFの考え方

#### II. 関節可動域訓練

- ・関節の仕組み ・評価
- ・効果の高い関節可動域訓練のために
- ・関節可動域訓練技術Ⅰ
  - ① 関節の隙間を作る ② 関節運動 他
- ・関節可動域訓練技術Ⅱ 筋緊張緩和
  - ① 精神的緩和 ② 収縮後緩和 他
- ・関節可動域実習 下肢の関節可動域訓練  
上肢の関節可動域訓練
- ・重点課題 足関節の関節可動域訓練 上級編

#### III. 筋力増強訓練

- ・筋肉の仕組み ・評価
- ・筋力増強訓練技術Ⅰ  
パフォーマンスを上げる技術
- ・筋力増強訓練技術Ⅱ  
基本的な筋力増強訓練 上肢の筋力、  
下肢の筋力
- ・筋力増強訓練技術Ⅲ  
特殊な訓練  
リズム・スタビライゼーション・スロー筋力 他
- ・筋力増強訓練技術Ⅳ  
目的別筋力 トレーニング 転倒予防の筋力、  
起立向上の筋力、他

#### IV. バランス訓練

- ・バランスの種類 ・評価
- ・バランス訓練技術Ⅰ  
バランス類型別訓練
- ・バランス訓練技術Ⅱ  
肢位別訓練・臥位での訓練 他
- ・バランス訓練技術Ⅲ  
応用バランス訓練
- ・バランス向上のレク

#### V. その他の身体機能訓練

- ・持久力
- ・巧緻性
- ・協調性 他

### 中級専門士 (スクリーニング3日間)

中枢神経疾患

#### I. 片麻痺に対するアプローチ

- ・脳卒中について ・片麻痺とは
- ・脳卒中片麻痺の評価
- ・脳卒中片麻痺のリハビリの3つのポイント
- ・異常筋緊張について
- ・共同運動パターンの抑制
- ・脳卒中片麻痺の訓練実技Ⅰ  
臥位での訓練・座位での訓練・立位での訓練
- ・脳卒中片麻痺の訓練実技Ⅱ  
椅子からの起立期訓練 床からの起立訓練
- ・脳卒中片麻痺の訓練実技Ⅲ  
硬い手指の開き方
- ・歩行訓練 ・特殊の道具を使つての訓練

#### II. パーキンソンに対する訓練

- ・パーキンソン病とは  
評価・機能評価・QOL 評価
- ・パーキンソンのリハビリの基本レベルの  
3つのポイント
- ・パーキンソンのリハの中級レベルの3つのポイント
- ・パーキンソンのリハの上級レベルの3つのポイント
- ・訓練実技Ⅰ  
臥位での訓練・座位での訓練 他
- ・訓練実技Ⅱ 歩行訓練
- ・訓練実技Ⅲ リズムの活用

#### III. 総合的転倒予防訓練

- ・転倒の原因
- ・転倒に関する各種評価
- ・原因別転倒予防訓練  
筋力・関節可動域・感覚に対して
- ・原因別転倒予防訓練  
バランス・転倒予防反射に対して
- ・原因別転倒予防訓練  
認知機能、自己身体認知、自己能力認知 他  
に対して
- ・転倒予防のレクリエーション
- ・転倒予防の足部トレーニング 他

### 上級専門士 (スクリーニング3日間)

ADL・口腔・総合・プラン作成

#### I. マッサージ

- ・基本マッサージ技術  
認知機能が低下している利用者に対するマッサージ
- ・リンパマッサージ
- ・皮膚運動学的マッサージ 他

#### II. 症状・疾患別訓練

- ・フレイル、ロコモティブシンドロームについて
- ・変形性膝関節症・腰痛、脊椎圧迫骨折・  
肩関節障害、五十肩・腹圧性尿失禁への  
アプローチ 他

#### III. オロ・フェイシャルアプローチ

- ・口腔・顔面機能について
- ・咀嚼・発声言語機能評価
- ・嚥下・口腔機能のリハの考え方
- ・訓練技術Ⅰ  
舌の可動域改善訓練筋力増強訓練 他
- ・訓練技術Ⅱ 嚥下機能訓練
- ・訓練技術Ⅲ 呼吸機能訓練
- ・訓練技術Ⅳ 総合訓練

#### IV. 活動に対する訓練

- ・ADLに対する評価・基本訓練
- ・ADLに対する訓練の工夫と応用訓練

- ・IADLに対する評価
- ・IADLに対する基本訓練
- ・IADLに対する訓練の工夫と応用訓練

#### V. 参加に対する訓練

- ・参加に関する評価・基本訓練
- ・参加に関する訓練の工夫と応用訓練

#### VI. リハビリケアプラン

- ・ケアプランの立て方実習
- ・訓練計画の立て方と実技

## リハビリケア専門士(リハビリ介護専門士) 2016 in横浜 お申し込み書 **FAX 084-948-0641**

|                     |                                     |               |                |
|---------------------|-------------------------------------|---------------|----------------|
| ふりがな                | TEL<br>(個人・法人)                      |               | FAX<br>(個人・法人) |
| 参加者名                | 携 帯                                 | PCメール<br>(必須) |                |
| 請求先・<br>書類送付先<br>住所 | (□法人 □個人※どちらかに✓をつけてください)<br>〒       |               |                |
| 法人名                 | 職 種                                 | 経験年数          |                |
| 職場種別                | デイケア・デイサービス・特養・老健・グループホーム・小規模・他 ( ) |               |                |

上記個人情報は、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します。

申し込み受付後、入金案内をお送りします

お問  
合せ

NPO法人日本介護福祉教育研修機構  
日本通所ケア研究会

〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOLサービス内  
研究会ホームページ <http://www.tsuusho.com/>

メール [info@tsuusho.com](mailto:info@tsuusho.com)

TEL 084-971-6686

FAX 084-948-0641